

タマネギの4~5月収穫作型

タマネギは加工・業務用需要が高く、主産地の北海道等から首都圏に輸送されていますが、輸送コストがかかるため、県内での生産拡大が望まれています。生産拡大のためには、法人等による水田等を活用した大規模生産が必要です。しかし、水稲生産と作業が競合するなど課題があります。

そこで、作業競合を回避できる新作型を検討し、8月中旬~9月上旬に早生品種を播種し、10月下旬~11月上旬に黒マルチを敷設した畝に苗を定植することで、県内の一般的な栽培よりも1か月ほど早い4月下旬~5月中旬の収穫が可能となりました。

水稲の移植とコムギの収穫がある6月に、タマネギの収穫も重なり、作業競合が発生します。

【慣行作型での栽培暦】

作目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
水稲	主な作業					▲ 播種	● 移植			■ 収穫			
コムギ	主な作業						■ 収穫					▲ 播種	
タマネギ	主な作業						■ 収穫			▲ 播種		● 定植	



【新作型での栽培暦】

新作型では、6月にタマネギの作業がなく、水稲やコムギとの作業競合を回避できます。また、ほ場の使用時期（定植から収穫まで）が水稲と重ならないため、水稲との輪作も可能です。

作目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
水稲	主な作業					▲ 播種	● 移植			■ 収穫			
コムギ	主な作業						■ 収穫					▲ 播種	
タマネギ	主な作業				■ 収穫				▲ 播種		● 定植		